

---

# インフィニットストラトス コードZERO

東光一

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

インフィニティストラトス   コードZERO

### 【Nコード】

N0438Z

### 【作者名】

東光一

### 【あらすじ】

IS学園の地下三十階。核シエルターの奥で、その少年は眠っていた。

あるはずのないISCコア。未知の武装。宇宙で発見された、宇宙最初のISを扱う男。あおやうせいじん蒼空零人。

彼が目覚めたとき、宇宙外生命体がつごめきだし、世界は新たな局面を迎える！

「やれやれ・・・いやまだ眠いぞ、おい」

オリジナル主人公でのハーレム作品。クラスメイト全員俺の嫁！た

だしー夏、オメーはだめだ！  
なにかほかのSF作品のクロスオーバーも途中でやるかも。。。。

**（前書き）**

まだまだ最初なんで応援よろしく!!!

ある朝俺は目ざめた。

いや、正しくは朝じゃない。まぶしいからそう思っただけだ。

おれは真っ白い光に照らされた、白い部屋のなかにいたのだ。

「ここは、どこだ」

おれがそうつぶやくと、突然どこから声がした。

「おはよう、ナンバー・ゼロ。気分はどうかね」

「どこだっていつってんだろが」

「どうやら、まだ話す気はないらしいな・・・」

そういうと、俺は自分の身体になにか痛みが駆け抜けたのをわかった。

ぐあああああああああ！！！！

思わず叫び声を上げる。電流。すごい高圧の電気が、全身に流されたのだ。誰のせいかな。

「我々としては、君が誰か理解しなければ、君を外に出すことはできないのだよ」

そこでおれは気づいた。自分の両手両足が、硬いワツカみたいなの  
に拘束されているのを。

必死に動かそうとするが、うんともすんとも言わない。

「  
・  
・  
・  
るか」

「うん？なんだって？」

[illegible]

再び稲妻が俺の全身をはしる。遺体。超痛い。

しかしこれは、本当だった。俺が誰なのか。俺は本当に分からなかったのだ。

それで電流を遣られるとか、むかつくにきまってんだろぅがぼけ！

「やれやれ。では、これに、見覚えはないか。」

そういうと、突然俺の目の前に四角い画面が現れた。サングラスの男が立っている。とっさに噛みつこうとしたが、頭突きもできなかった。

「やれやれ。君は本当に人間か？」画面の中で男は、にやにやして  
いる。俺は唾をはきかける。画面についた。

「ずまーみろ。」

しかし、唾はまもなく俺の顔の上に折ってきた。ぬあああああああ！！

「やれやれ。まあいい。最後のチャンスだ。これをみる。」

汚い画面をみる。おとこは手に、なにか棒のようなものを持っていた。

「海の底に沈んでいたんだ。これが何か、お前なら分かるんじゃないか。」

それをみて、俺の胸の奥の何かが動いた。身体は動かないのし、記憶はない。けれどもそれがなにか、おれに言おうとしていた。

おれはそのままじっと見ていた。その棒を。それがなんなのかわからない。けど。

いや。俺の鼓動が熱く燃える。

「おい。あんたさ。今一体どこにいるんだ。後で殴らせろ」

「悪いが、君のいる場所からは遠いよ。なぐりたければー」

「ウソだな」

俺はにやりと笑う。そうして、俺は困惑する男をよそに、その言葉を叫ぶ。

「来い！！青龍神剣！」  
シアン・ブレイド

瞬間、目の前の画面にノイズになる。そうして俺の直ぐ近く、すぐ隣の部屋で、すごい音がする。

そして間もなく、おれが伸ばした手の先に、壁を突き抜けてそいつがくる。

俺の剣が。

そうだ。俺の剣だ。それだけはわかる。それ以外はわからん。

俺は見事に手首だけ動かして体中の機械をぶった切る。

肩とか身体をばきばき言わせながら、立ち上がる。そして見つめるのは、ぶち明けた壁の向こう。

サングラスの男が、仰天とした顔でこちらをのぞいていた。

だから俺は言っちゃった。

「よう。大人しくぶんなぐられるか、こいつで叩っ切られるか。どっちがいい？」

この日。俺は目ざめたんだ。俺の朝だった――

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0438z/>

---

インフィニットストラトス コードZERO

2011年12月1日19時57分発行